

ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真= 4F庭園 パンジー (2023年3月1日)

春を先取り

岡 聖史
2023年 月 日

3月に入り暖かい日が多くなってきました。花粉症の方にはつらい日々になりますが、春といえば、ワクワク・ソワソワ・ルンルン、そんな擬態語が似合う前向きな季節のイメージです。3月15日には桜の開花宣言があり、いよいよ春本番を迎えます。

今年はコロナによる規制が緩和され外でのお花見も再開できそうな雰囲気です。お花見といえば桜の花ですが、その前に桃の節句がありましたので、今月のトピックにしました。今年も1Fにひな人形を飾りご入居者様がパラパラと見に来られていました。どんなお願いをされたのか、気になるところです。



写真=スペシャルデザート (2023年2月27日)
一口サイズにカットしたフルーツをゼリーで固めました。



写真= 1Fに飾られた雛人形 (2023年 2月 27日)

桃の季節と雛人形

近藤 弘成
2023年3月13日

3月に入り一気に穏やかな気候となり、春の日光が心地よい時期となりました。ロイヤルホームでは今年もコロナウイルスの影響を考慮し、ご入居者さまがリハビリテーションや移動販売で1Fに来られた際、玄関ホールに飾ったひな人形の前を立ち寄って眺めて頂いています。

最近ではシンプルに姫だるまのようなデフォルメされた人形セットも人気ですが、当施設では昔ながらの皆さんに親しまれている凛とした表情の人形を用意しております。先日ご入居者さまをお連れした際は、目を丸くして「はい！はい！」と手で触って楽しまれ、またある方は「綺麗だねえ。」と目尻を下げて喜ばれていました。

ひな人形は娘の厄を引き受ける役目があるため、災いがふりかからず幸せな人生を送れるよう願いが込められているそうです。そんな両親の思いが込められているのを感じ取り、すくすくと成長していった幼少のころのご自身や、お子様の回想に浸って頂き、私事なのですが、去年生まれた娘も年月を重ねて行ったときにこんな形で「願い」に思いを馳せてくれたら素敵だなと思案するいい機会となりました。

さて来月には、いよいよ新年度となります。Withコロナの中で制限はありますが、時候にあった行事を用意し皆様にとって豊かな年となるようチーム一同努めて参ります。

今月のトピック

桃の季節と雛人形 # 作業療法と機能訓練 # 委員会活動報告(業務の電子化) # スタッフ紹介

作業療法と機能訓練

平川 昌史
2023年3月10日

ご入居者様の運動機能及び心理機能の改善を目指す治療法の一つに作業療法がございます。園芸(フラワーアレンジメント)・手芸・木工などの作業を行うことにより身体運動機能や精神心理機能の改善を目指すことを目的としたリハビリテーションの一環で行われます。

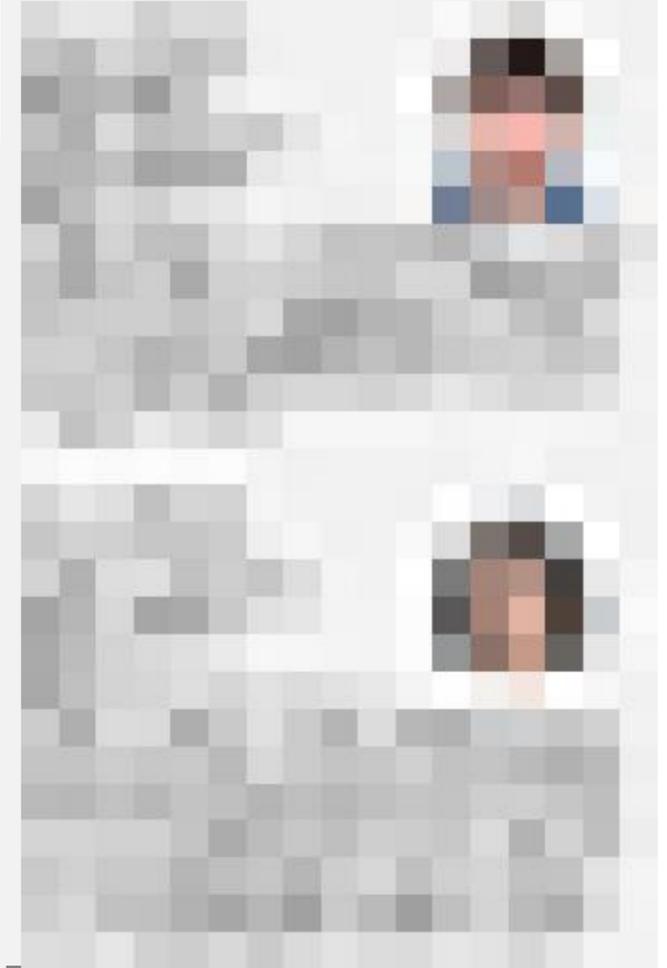
ロイヤルホームではリハビリ総合病院の作業療法士が担当しており理学療法、言語聴覚療法とともにご入居者様の身体機能維持及び促進と機能訓練の為に力を入れております。

今回は作業療法士の方に日頃の活動について色々とお聞きいたしましたので紹介をいたします。取り組みについてですが、近年のコロナ禍においてはスタッフとの1対1や少人数での作業活動(折り紙・塗り絵・カレンダー製作・野外の散歩・体操・季節のお花などを楽しむ事など)を行っているということです。作業療法を実施する際に心掛けていることは、ご入居者様状態に合わせて机の高さや姿勢など作業しやすい環境作りや安全管理に特に注意をされているということです。また出来るだけ他者との交流や楽しめる場の提供、季節を感じられる作業活動となるよう配慮をされているということです。近年は感染予防対策に苦慮されていると思いますが、ご入居者様が楽しみにして下さっているお姿や笑顔を見ると日頃の苦労も吹き飛んでしまうということです。今後も他の医療療法と合わせて機能訓練を通してご入居者様の健康維持、促進を共に担っていただけるとことと強く感じております。



スタッフ紹介

2023年 3月 1日



振り返り

岡 聖史
2023年 3月 14日

コロナの長い日々にも”一区切り”の発表がありました。5類相当への引き下げは社会を2分することになりそうです。すなわち、重症化リスク因子を持っていない人々にとってはストレスフリーへ、リスクをもっている人々にとってはこれまでと同様かあるいはそれ以上のリスクがやってくるかもしれません。いずれにせよ、これまでの経験は総生会とロイヤルホームにとって成長の糧となりました。今後もよりよいサービスに向けて邁進してまいります。



おしらせ

給食会社を変更する計画を進めています。新しい会社の選定のため、先日試食会を行いました。試食会では特別食はもちろんですが、通常の食事がどうかについても十分吟味しています。食は生活の質を高める重要な要素ですので、必ず成功させたいと考えています。

← 通常の朝食の例

委員会活動報告 (業務の電子化)

岡 聖史
2023年 月 日

紙を使った仕事をなくす取り組みを行っています。パソコンやタブレットを使用することが当たり前の世代にとっては何の苦労もないかもしれませんが、最近ようやくスマートホンに切り替えた方にはやはりハードルが高めかもしれません。そもそも紙を使用しない事は環境にやさしいばかりではなくコストの面から

も積極的に進めるべきです。しかし、紙をつかっていたときよりも手間になってしまう部分はどうしてもあります。例えば、データが適切に入力されているかを確認する場合、以前は紙の書類とパソコンの画面を同時に見比べることが出来ました。しかし、紙をなくすと画面を何度も切り替えて見比べる作業が発生します。これは、非常に手間です。

一方で、コンピューターだからこそ実現できている部分もあります。現在はご入居者様のケアは24時間スケジュール化され、職員はスケジュールを確認しながら実施しています。以前では考えられなかった管理体制ですが、日々変わる予定や提供内容を余すことなく実施するにはコンピューターの力が不可欠なのは確かです。